

取扱説明書を読みましょう。

機種により自立運転モードへの切り替え操作が異なります。必ず付属の取扱説明書を読みましょう。操作要領をコピーして壁に貼っておくと非常時にもあわせて対応できます。操作方法がわからなければ販売店や工事店、近所の仲間に聞いておきましょう。



主電源ブレーカを OFF にします。

災害時には、停電していても安全のため主電源ブレーカはOFFにしましょう。これは、自立運転をする・しないにかかわらず必ず行わなければならないことです。知らぬ間に通電し、火事になったという教訓が阪神淡路大震災で得られています。



太陽光発電ブレーカを OFF にします。

自立運転には商用電源の遮断が必要です。また災害時の有無に関わらず、電気系統に重大な事故を起こす可能性があるため、取扱説明書に指示が無くても**太陽光発電用ブレーカは必ずOFFにしましょう。**



自立運転モードに切り替えます。

で確認した自立運転モードへの切り替えを行ってください。

接続機器を自立コンセントにつなぎます。

接続機器の主電源がOFFになっているのを確認してから接続してください。思わぬ事故や怪我につながります。また、長めの延長コードを用意しておくと、いざというとき便利です。



電気機器使用時は、こまめに発電状況を確認。

突然の発電出力の低下は、接続機器によっては事故の恐れがあります。曇りの兆候など天候の変化が見られるようでしたら、発電出力を必ず確認し、接続を取りやめるなどの処置をとりましょう。

必ず元に戻しましょう。

自立運転モード解除 太陽光発電用ブレーカON 主電源ONの順で復帰します。災害時は商用電源の復帰を待って操作して下さい。また、復帰操作後は、地域によって約150秒から300秒の待機時間があります。自立運転モードのままにしておくと売電できないのでご注意ください。

この冊子に関するお問い合わせ

特定非営利活動法人 太陽光発電所ネットワーク

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-10 湯島ビル 202

電話：03-5805-3577 FAX：03-5805-3588 ホームページ：<http://www.greenenergy.jp/>